

6月号

# まちづくり通信



発行 飛騨高山まちづくり本舗  
〒506-0845 高山市上二之町 44-4  
まちひとぷら座かんかこかん  
電話 & FAX 0577-33-5282  
m-honpo@takayamashishouren

かんかこかんHPより、バックナンバーをご覧いただくことができます

## 地産地笑 地産地食を みんなで盛り上げよう!! この夏も 一人ひとりの力が まちを熱くする

りんくるりん みんなで縁日



若者パワー★熟年パワー大歓迎  
**縁日クリエイター & パフォーマンスで ご参加を!**

【りんくるりん みんなで縁日 2010】  
8/1.2 本町通り 6.7 安川通り

商店街の納涼夜市に合わせて開催する市民企画「みんなで縁日」は8回目。これまでのように、クラフト、ショップ、特技などを通じて、また今年こそ、縁日クリエイターとしてあなたのイメージやアイデアをたっぷり盛り込んで、**ワクワクする縁日空間を創造**してみませんか？

段ボール迷路は、作ることも遊ぶことも、喜んで遊ぶ子どもたちの姿を見ていることも楽しい空間。最初は小さなグループの企画からはじまり、その後も多くの市民の協力のもと年々進化を続け、今では夏の縁日にはかかせない出し物になっています。

みんなで縁日は、**地産地笑**を地域に広げて、地域に物語を育んでいる活動です。今年も市民のアイデアを縁日に結集しましょう。

※参加ご希望の方は、6月30日までに【みんなで縁日申込書】にて！  
申込み・問合せ 33-5282 飛騨高山まちづくり本舗

申込み締切  
**6/30**



まちづくり本舗企画イベント(22年度)予定  
今後多彩な企画を予定しています。

- 7月末～8月初旬 ◆子ども寺子屋かんかこかん
- 8月1日(日)・2日(月) ◆本町通り納涼縁日
- 6日(金)・7日(土) ◆安川通り納涼縁日
- 10月1日(金) ◆ベビーカーでまち探検
- 2日(土) ◆子ども忍者のまち探検
- 11月 ◆エレガンス講座
- 12月11日(土)・12日(日) ◆冬のあつたか縁日

### 地産地食

### おいしい飛騨を 食卓から見直そう!!

今日のお昼のお弁当、夕食の献立と、我が家の食卓の地産地食度をチェックして、話題にしてみませんか？美味くて新鮮な地元の食材、加工品はどれくらい食卓にあがるでしょう。



昨年から二回目となる「飛騨高山やさいの日」は飛騨産の農畜水産物を飛騨産と意識して、地元で味わう『地産地食』をすすめる地元生産者グループの呼びかけによるもので、**8月31日**を「飛騨高山やさいの日」とし、つくる人、うる人、たべる人が、それぞれに飛騨の恵みを実感できるような企画で盛り上げてほしいというもの。去年は64店舗9団体が参加されました。あなたの店も、会社、店舗独自のアイデアと工夫で**地産地食**の取り組みに参画しませんか？

主催 ◆飛騨の野菜ごちそうプロジェクトチーム  
申込み・問合せ ◆35-3141 高山市農務課

申込み締切  
**6/30**

マップ 全長4キロ、15の寺院神社を巡る



### 東山遊歩道マップで 高山を歩こう

家族や仲間でのハイキングや、お客さんの案内、お寺巡りなどに役立つ便利なマップを高山市が作成しました。

東山寺町と城山周辺を現在の地図と比べることができる古地図、2神社13寺の解説が、日本語と英語で添えられています。

最寄りの観光案内所、市役所観光課に置いてあります。



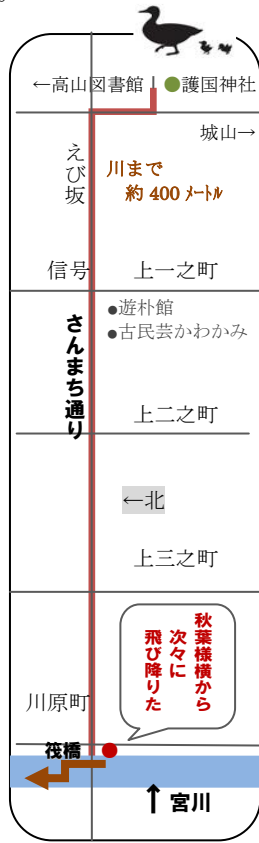
先月5月24日、高山市民時報の1面に掲載されていた、さんまち通りで見られたという光景の記事を、多くの市民がほのぼのとした気持ちで読まれたことでしょう。

人間の隣でたくましく生き抜くあっぱれな親子のカルガモ隊に、思わず前号でご案内した、まちを歩こうキャンペーン認定第一号!!を確信しました。

三日後、ご近所で聞きました。「昨年もこの時期、店に入って来て店内をひと巡りして出て行った」とさんまち通りの骨董店のご主人。友人からカルガモ移動のメールが入れば、えび坂下で信号が赤でも道を横断するカルガモのために交通整理。警護付きで車道を歩く親とヒナ8羽に通りは大渋滞。溝に落ちてはぐれかけたヒナも人に拾い上げられ無事にもとの列に合流、筏橋までたどりつきました。

多くの人が見守る中、親子は秋葉様横の茂みから4メートルほど下の岸边へ飛び降り、増水した川の流れに思い切って入った親の後を追って、ヒナたちも元気に下流に向かっていったそうです。

カルガモ親子の消息を追うように川辺を万人橋まで歩いてみると、いろいろな野鳥の姿にであいました。カルガモ隊の移動コースから宮川河畔をバードウォッチングして歩いてみませんか！



写真展・講演会

沖縄の現実を問いかける写真展

『美ら海を守る人びと』

高山出身、名古屋在住の写真家浅見裕子さんが1996年から2005年に撮影された自然、戦跡、基地建設を反対する人々の姿を写真で紹介しています。

- ◆6月17日(木)～20日(日) 10時～5時
- \*浅野裕子氏ミニ講演会 20日14時～14時45分
- ◆ギャラリー&カフェ遊朴館(上一之町26)
- ◆入場料 100円(高校生以下無料)

問合せ：同実行委員会 35-0978 中垣さん

まちの元気印。インフォメーション

私ができること、やりたいこと、協力できることを通じてまちを盛り上げる、協働によるまちづくり活動サポーター登録。

「まちの元気印。応援団」サポーター登録受付中!!

平成22年5月30日現在、個人35名、団体32組織(のべ構成員1,095人)の方が登録されています。

問合せ:高山市中心市街地活性化推進室(応援団事務局)  
Tel 35-3426(直通) Fax 35-3167

詳細は飛騨高山まちの元気印。検索 から



『ブックスタートにことばの魂を添える』



ブックスタートとは、絵本を通じて親子のきずなを深め心豊かに成長できるように、地域に生まれた全ての赤ちゃんにご家族に「幸せになってね」と、あたたかいメッセージを込めて絵本をプレゼントする運動です。(市ホームページより)

高山市ではH18年から、生後4ヶ月児と1才6ヶ月児を対象に、保健センターでの4ヶ月検診と図書館での読み聞かせの会で絵本を配布しています。大切にしていることは、単なる配本ではなく、心をこめて絵本の楽しさと大切さを伝えていく、ということ。

絵本の選定を含む全体の運営は、子育て支援課・保健センター・高山図書館に加え、地域でそれぞれに活動する絵本の読み語りグループの横のつながりと絵本やお話についての学びを目的にした市民活動団体「おはなしネット・ことだま」が協働して取り組んでいます。

「おはなしネット・ことだま」スタッフは、配布時に選定された4ヶ月児向け5冊、1才半児向け10冊の絵本を赤ちゃんとお母さんたちの目の前で語りかけるように紹介します。「赤ちゃんが好きな本ばかりですから、読みやすい本を選んでいってくださいね」の声かけにお母さんたちは好きな一冊を選びます。当初半分ほどだった1才6ヶ月時の配布率も年々増加し、ブックスタートは、絵本に親しむ親子の後押しになっています。

「抱っこして読んであげると読み手の息づかいが感じられ子どもは安心感を得ます。学習というより本をとじてから広がるイメージも大切にしてほしい。絵本を通じて目に見えない愛情を感じてほしい」と。絵本には限りない魅力があるようです。

◆今回の内容は、おはなしネット・ことだま代表の常光亮子さん(35-0613)に、お話をうかがいました。



絵本展

生涯作り続けることの楽しみ

「第29回 手づくり絵本★巡回展」

- ◆6月18日(金)～20日(日) 9時半～5時
- ◆高山市一之宮公民館◆入場無料◆手づくり絵本三県連絡会主催

30年程前に長野の保育園児の母親たちが始めた活動は、岐阜、愛知に広がり同展は29年目。祖母世代から母世代そして孫世代へと、創作の種はひきつがれています。14地区を200冊の作品が巡回しています。

※6月12-13日金山市民会館、7月9-10-11日飛騨市図書館、17-18日下呂市星雲会館、24-25日まなびパークたじみ

問合せ:手づくり絵本の会高山一之宮・さくらんぼの会 34-7923



0571-33-5055

かんかこかん  
いんぷおーしょん

こどもひろば・情報ひろば・まちづくりひろば  
まちひとぶら座かんかこかん  
開館時間 10時～5時(年末年始を除き無休)

★乳幼児親子の歯の学習会

6月22日(火)10時半～11時半

- 歯科衛生士さんによる乳歯が生え始める頃からの口腔ケア
- 参加費 100円(託児一人500円)



かんかこかん2階和室

※参加と託児の申込み(締切6/18)が必要です。

申込み用紙にご記入の上、直接またはFaxで。

★かんかこ

フリーマーケット!  
24日(木)10～12時  
参加費 100円

★金曜野菜市

好評開催中!!

※各詳細は、33-5055までお問合せ下さい。